



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月4日

上場会社名 ヤマシンフィルタ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6240 URL <http://www.yamashin-filter.co.jp/index.html>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 敦彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鷹野 徹 TEL 045 (680) 1671  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	7,995	—	695	—	678	—	386	—
26年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 540百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	213.88	—
26年3月期第3四半期	—	—

(注) 1. 当社は平成26年3月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成26年3月期第3四半期の記載及び平成27年3月期第3四半期増減率の記載をしておりません。  
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	9,381	6,300	67.2	3,039.27
26年3月期	8,635	4,852	56.2	2,860.28

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 6,300百万円 26年3月期 4,852百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	40.00	40.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	56.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,637	1.0	825	16.3	805	13.5	463	37.5	247.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	2,073,000株	26年3月期	1,696,500株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	－株	26年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	1,805,084株	26年3月期3Q	1,696,500株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

添付資料の目次 .....	1
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、平成25年4月より中期経営計画「TEC13」をスタートし、①企業価値向上のための成長戦略、②利益創出体制を確立するためのコスト構造改革、を重点項目として活動しています。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、景気回復に遅れがみられるものの、政府の各種政策効果を背景に、企業収益や雇用情勢に改善がみられるなど、経済全体では穏やかな回復基調が続きました。海外においても、米国では景気拡大基調が鮮明となる一方で、一部の国を除いた欧州での景気停滞の長期化、アジア地域での成長鈍化や政情不安など、世界経済全体で不透明な要因がまだに見受けられます。

当社グループの主要市場である油圧ショベルを中心とした建設機械市場においては、日本では、排ガス規制に伴う駆け込み需要の反動を受け、需要が前年同期を下回りました。欧州及び北米では、住宅関連投資の持ち直しや設備投資の回復により、需要が拡大した一方、中国では政府による住宅ローン規制緩和や利下げなどの景気対策が打たれたものの、不動産投資の鈍化等により需要は大きく落ち込み、東南アジア、豪州においても、マイニングの減少傾向の中、需要は引き続き低迷しました。

このような環境の中、当社グループの強みである油圧ショベルの作動油回路用フィルタ製品に加え、燃料用フィルタを市場に投入し、フィルタ製品のラインナップの充実を図り、建設機械メーカーの需要拡大に努めております。また、中国・アジア市場においては、補給部品の純正率向上に建設機械メーカーと共同で取り組み、純正品を使用するメリットをエンドユーザーに訴求することで、純正部品の採用率向上に努めています。

以上の結果、売上高は79億95百万円となり、営業利益は6億95百万円、経常利益は6億78百万円、四半期純利益は品質保証対応損失等を計上したことにより、3億86百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末比7億42百万円増加（前連結会計年度末比11.1%増）し、74億32百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が1億92百万円増加（前連結会計年度末比8.9%増）、有価証券が2億円増加、商品及び製品並びに原材料及び貯蔵品が2億6百万円増加（前連結会計年度末比14.6%増）したことによるものです。

## (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、同4百万円増加（前連結会計年度末比0.2%増）し、19億48百万円となりました。その主な要因は、長期預金が1億円増加した一方、有形固定資産及び無形固定資産が1億5百万円減少（前連結会計年度末比6.1%減）したことによるものです。

## (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、同5億77百万円減少（前連結会計年度末比23.7%減）し、18億55百万円となりました。その主な要因は、短期借入金返済、未払金及び未払法人税等の決済が進んだことにより、短期借入金、未払金及び未払法人税等が6億50百万円減少（前連結会計年度末比74.7%減）したことによるものです。

## (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、同1億24百万円減少（前連結会計年度末比9.2%減）し、12億26百万円となりました。その主な要因は、長期借入金が1億50百万円減少（前連結会計年度末比14.3%減）したことによるものです。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、同14億47百万円増加（前連結会計年度末比29.8%増）し、63億円となりました。その主な要因は、新株発行に伴い資本金及び資本剰余金が9億75百万円増加（前連結会計年度末比237.8%増）したこと、四半期純利益の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が3億18百万円増加（前連結会計年度末比7.3%増）したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,810,855	2,922,368
受取手形及び売掛金	2,151,795	2,344,243
有価証券	-	200,000
商品及び製品	906,397	979,594
原材料及び貯蔵品	508,644	642,159
繰延税金資産	235,382	224,004
その他	77,657	120,489
流動資産合計	6,690,734	7,432,860
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	724,025	655,728
機械装置及び運搬具(純額)	475,383	465,191
工具、器具及び備品(純額)	175,991	172,955
土地	155,488	155,488
その他(純額)	26,702	20,827
有形固定資産合計	1,557,591	1,470,190
無形固定資産		
ソフトウェア	166,907	138,788
その他	3,069	12,746
無形固定資産合計	169,977	151,535
投資その他の資産		
投資有価証券	72,136	81,096
長期預金	-	100,000
退職給付に係る資産	164	-
差入保証金	113,866	116,049
その他	30,960	29,931
投資その他の資産合計	217,127	327,076
固定資産合計	1,944,697	1,948,803
資産合計	8,635,431	9,381,663

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	964,995	1,012,043
短期借入金	300,000	-
1年内償還予定の社債	30,000	-
1年内返済予定の長期借入金	300,000	300,000
未払金	422,816	187,053
未払法人税等	147,713	33,000
賞与引当金	114,174	63,825
その他	153,042	259,317
流動負債合計	2,432,741	1,855,241
固定負債		
長期借入金	1,050,000	900,000
退職給付に係る負債	129,626	145,158
資産除去債務	159,215	159,587
その他	11,383	21,263
固定負債合計	1,350,224	1,226,009
負債合計	3,782,966	3,081,250
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	335,075	822,642
資本剰余金	75,075	562,642
利益剰余金	4,346,065	4,664,269
株主資本合計	4,756,215	6,049,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,989	22,751
為替換算調整勘定	79,260	228,106
その他の包括利益累計額合計	96,249	250,857
純資産合計	4,852,464	6,300,412
負債純資産合計	8,635,431	9,381,663

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	7,995,742
売上原価	4,559,076
売上総利益	3,436,666
販売費及び一般管理費	2,740,924
営業利益	695,741
営業外収益	
受取利息	548
受取配当金	2,072
スクラップ売却益	2,546
補助金収入	9,519
その他	7,760
営業外収益合計	22,446
営業外費用	
支払利息	10,265
株式公開費用	26,279
その他	3,400
営業外費用合計	39,944
経常利益	678,243
特別利益	
固定資産売却益	662
特別利益合計	662
特別損失	
固定資産除売却損	2,381
品質保証対応損失	113,848
特別損失合計	116,230
税金等調整前四半期純利益	562,675
法人税等	176,610
少数株主損益調整前四半期純利益	386,064
四半期純利益	386,064



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	386,064
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	5,762
為替換算調整勘定	148,846
その他の包括利益合計	154,608
四半期包括利益	540,672
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	540,672
少数株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年10月7日を払込期日とする公募増資及び平成26年11月5日を払込期日とする第三者割当増資を実施しました。

この結果、当第3四半期連結会計期間において資本金が487,567千円、資本剰余金が487,567千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が822,642千円、資本剰余金が562,642千円となっております。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループはフィルタ製品の製造・販売を主たる事業とする単一のセグメントであるため、記載を省略しております。